

稲作体験

横溝屋敷がオープンした平成元年から、5年生を中心に、地域の方々や保護者のボランティアの方々に支えられて続けています。

ここでは、稲作体験の基本的な流れを紹介します。

4月下旬

稲作開講式



5年生は4年生の頃、収穫祭で先輩が作ったお米でできたおもちをごちそうになっています。今年は自分たちの番だと楽しみにしています。

稲作体験学習を支援して下さる地域の方々に、稲作のお話を伺った後、みんなで、お願いしますのあいさつをしました。

5月下旬

草取り



子どもたちは初めて田んぼに入ります。横溝屋敷に全員集合し、注意事項や流れを教えてもらった後、田んぼに入ります。

長靴では足を取られてしまうので、“靴下”で入ります。横溝屋敷でビーチサンダル・靴下に履き替えます。

その後、田んぼの脇にビーチサンダルを置き、靴下で田んぼに入ります。

草は根が深く、根元から取るのは大変です。しかし、5年生全員の力を合わせれば、あっという間に取れてしまいます。

取った草は、手渡しリレーで外に送り、横溝屋敷のそば藪に置かせてもらいました。

子どもたちは田んぼの土の感触にどンドン慣れて、最後は「もっと入っていたいー。」というほどになりました。

草取りが終わった子から、ボランティアで来てくださった保護者の方々から足を洗ってもらいました。

地域・保護者の方々を支えられた活動だと子どもたちも実感することができました。

6月上旬

田植え



服装は、草取りと同じです。

ロープの印に沿って、苗を4～6株くらいずつ、抜けないようにしっかり植えていきます。草取りで田んぼに慣れていたので、転ぶ子もなくスイスイ作業をすることができました。

子どもたちは、「もっと植えたい！」と言うくらい、熱心に取り組めました。

7月下旬

草とり(職員)

職員でも草取りをします。草負けしないように、長袖手・軍手が必要でした。5月の草取りに比べ、草が大きく成長していることと、イネと見分けのつかない草がイネと一緒に生えていることから、なかなか難しい作業でした。

8月下旬

網掛け(職員)

スズメからイネを守るため、網をかけます。地域の方と職員で行いましたが、稲作実行委員の子たちや、通りがかった子たちも手伝ってくれました。

8 月下旬(児童)

カカシたて



スズメ対策で、稲作実行委員の子たちを中心にカカシを作りました。そのカカシをみんなで立てに行きました。

カカシを立てた後は、みんなで記念撮影。

カカシ自体は、台風で一度倒れてしまいましたが、壊れることなく役目を果たせました。

10 月上旬

稲刈り



稲刈りの時も服装は田植えの時と同じです。田んぼの中にはザリガニなどの子どもが大好きな生き物がたくさんいました。横溝屋敷から鎌をお借りしました。鎌を回すようににしてイネを刈っています。刈ったイネは、5月の草取りの時と同じように、みんなで外に送り、横溝屋敷の脇に干しました。

毎回毎回、保護者の方々に足を洗ってもらっていましたが、今回が最後です。感謝の気持ちを込めて「ありがとうございました」を言いました。

11 月上旬

稲こき脱穀



服装は、毛糸製のものは避け、わらのくずがつかないようになもの、マスクです。横溝屋敷に保管してある、千歯こき・足ふみ式の脱穀機・電動の脱穀機を体験させてもらいました。電動の脱穀機は危険なので横溝さんが脱穀し、機械の袖から出てくるクズをみんなで集めました。千歯こき→足ふみ式の脱穀機→電動の脱穀機の順に作業の時間がどんどん短くなり、農作業の苦労や機械のすごさを実感することができました。

12月上旬

収穫祭



地域の指導員の方々、保護者のボランティアの方々と一緒に収穫祭をしました。はじめに挨拶をしたのち、1組から順番にお餅つきをしました。最初に炊いたお米をこねて、力いっぱいつきました。

ついたお餅は、あんこ・きなこ・大根で味付けしてもらいました。

4年生にもおいしく食べてもらいました。

自分たちで育て、自分たちでつき、しかも出来たて。頑張ってきた「達成感」と、お世話になった方々への「感謝」を感じながら、おいしくお餅を食べることのできた最高の収穫祭でした。